

社協職連協にゆ～す



第56号

発行：茨城社会福祉協議会職員連絡協議会

令和8年2月発行

職場の仲間の顔を見えていますか？

年が明けた 🐉 と思ったら、👹 節分が過ぎて、年度末となりました。

皆さん、決算や新規事業などの準備で忙しい日々を送っていることと思います 🎨

忙しいが故になかなか周りを見る余裕がない状況なのかもしれませんが、💻 少しだけ仕事の手を緩めて周りの仲間の顔を見てみてください。

「しんどそうにしている仲間はいませんか？」

「あの時声をかけて、話を聞いていたら辞めていなかったかもしれない？」

お節介と言われてしまうかもしれませんが、周りの仲間のことを思うアツい気持ちで、働きやすい職場づくりにつながるものと考えます。



社協に入社した理由を聞いてみました

他の社会福祉法人と比べ幅広く福祉の業務を行っていること

地域で活動することができる場所

安定している場所

休みが取れる場所 などなど



今回、無作為に職員に聞いてみました

中には、「学生時代の理想を見失わずに今も取り組んでいます」という声も聞かれました

皆さん、初心を忘れずに邁進していきましょう!



稲北支部ってどこにあるんですか？

稲北支部は、千葉との県境、稲敷郡と北相馬郡を合わせた地域になります。双方の頭文字を取って「稲北」になります。支部を構成する市町村社協は9社協もあるのですが、大変残念ながら7社協が退会し、現在、牛久市社協と利根町社協の一部の会員で活動を行っています。会員数は八四名です。

★支部活動には、会員家族も参加できる形をとっています！

活動は会員本人だけではなく、会員家族も参加できるプログラムを取り入れて活動を行っています。

これまで、視察研修に加えて、果物狩り・陶芸・手焼きせんべい・スイートポテトづくり・ピザづくり・藍染めなど、家族で様々な体験を行ってきました。

今年度は、三月八日(日)にヒュージング(ガラス細工)体験を行う予定です。

今回も盛況でたくさんの方の参加申し込みがありました。「子どもと一日じっくり過ごすことができるとてもよかった」と、参加者からは好評の声が聞かれています。



本号は稲北支部が
担当しました。